

ファシリテーター用シート

子育て世代(乳幼児期～小学生期)対象プログラム展開例

テーマ	ネット・スマホ等について ～ネット犯罪から身を守ろう～
-----	--------------------------------

準備するもの:埼玉県警察サイバー局が作成したサイバーテストの 問題 と 解答

ねらい	ネットやスマホ等を使用する際、こどもはもちろん保護者も犯罪に巻き込まれないためにはどうしたらよいかを話し合い、適切な使用について考える。
-----	--

ワーク1

埼玉県警察サイバー局が作成したサイバーセキュリティに関する学習の理解度を図るための確認テスト(サイバーテスト)を実施する。

「ネットリテラシー」「闇バイト」「金融犯罪」もあります。

- ・ こどもの用のテストですが、私たち保護者も一緒に解いてみましょう。
- ・ ネットリテラシーについてよく聞きますが、みなさんご存じですか。
- ・ 闇バイト、サイバー犯罪、金融犯罪は、スマホやインターネットを利用する私たちにとって、他人事ではありません。
- ・ 犯罪に巻き込まれないために、気を付けていることや工夫していることが何かありますか。

【想定される意見】

- ・ 確認のためにテストができてよい。
- ・ いつ、犯罪に巻き込まれるか分からないので、注意が必要だと思う。
- ・ こどもが使うスマホには、使用状況を確認できるように設定しているので大丈夫だと思う。
- ・ もし、だまされたときはどこに連絡したらよいだろうか。
- ・ こどもにスマホやゲームを持たせるのは、保護者の責任だと思う。

ワーク2

テストの最後に書かれている、保護者へのメッセージを読んで、犯罪に巻き込まれないために、保護者としてどうしたらよいか、また、「我が家のルール」をもう一度確認する機会とする。

※ ネットトラブルからこどもを守り、情報端末機器を正しく活用しましょう。

☆サイバーテストダウンロード URL

<https://www.police.pref.saitama.lg.jp/c0070/kurashi/cyber-est.html>

出典:埼玉県警察ホームページ

<https://www.police.pref.saitama.lg.jp/riyokiyaku.html>



【進行例】

時間等		参加者の活動	進行役の活動 (発言・留意点など)
導 入	7 分	アイスブレイキング ・ グループ分けをする。 ・ グループ内での自己紹介をする。	・ 4・5人のグループを作る。 ・ グループの代表者を決める。
	3 分	テーマ、内容の確認 ルールとマナーの確認 ルールとマナー ・ 参加(積極的に参加)・尊重(意見の尊重) ・ 守秘(個人情報はもち帰らない)	・ テーマ・内容を伝える。 ・ ファシリテーターの見解に基づくアドバイスは避ける。
展 開	10 分	話題提示 各自の意見 ・ ワークシート(サイバーテスト)に記入する。 ・ テストの解答をする。 ・ 保護者として、犯罪に巻き込まれないためにどうしたらよいか考え、また、子どもと一緒に我が家のルールを確認する機会とする。	・ 「すぐに情報を得られたり、ネットショッピングができたりと便利なスマホですが、犯罪に巻き込まれる危険もあります。確認のために、テストをしてみましょう。」 テストの答え合わせをする。 「テストの最後に書かれている保護者へのメッセージを読み、保護者として犯罪に巻き込まれないためにどうしたらよいか、また、子どもと一緒に、我が家のルールを確認してみましょう。」
	10 分	意見交換 ・ グループ内でテストの内容や各自が書いた意見を発表する。	・ 「グループの代表者を中心に、順番に発表しましょう。」 否定的な発言は、避けましょう。
	(5) 分	グループ発表 ・ 各グループの代表者が出された意見等を発表する。 ※ 省いてもよい	・ 各グループから出された、キーワードや参考となる意見を挙げる。
ふ り か え り	5 分	ふりかえり ・ 話合いの感想や気付いたこと、参考となったことをワークシートに記入する。 まとめ ・ 参考資料より、ネットトラブルを防ぐためのチェックポイントを、家庭でのルールは機会あるごとに親子で見直すことを確認する。 ルールとマナーの確認	・ ファシリテーターの意見が押し付けにならないように注意する。